

【事例発表】

豊後大野市居住支援協議会

社会福祉法人偕生会 養護老人ホーム常楽荘 澤田知美
日本文理大学 工学部 建築学科 助教 福田 健
清川町支え合いのまちづくり仕掛人会 渡邊 久洋

協議会って何するの？

ー 豊後大野市居住支援協議会 の場合 ー

豊後大野市居住支援協議会 事務局
社会福祉法人偕生会 澤田知美

居住支援九州サミット in べっぶ 事例発表 2024/10/31

居住支援法人って何？

居住支援協議会って何？





居住支援法人も協議会も課題解決を図るためにネットワークを有する。
協議会：ネットワーク体だからこそできることの追求

豊後大野市居住支援協議会

設立：令和5年1月30日
事務局：豊後大野市建設課
社会福祉法人偕生会
事務局補助：大分県豊後大野土木事務所

活用している補助金

- 国土交通省（令和5年度・6年度）
- 大分県（令和6年度）



豊後大野市

人口：32,325人（令和6年6月）
高齢化率：43.9%（令和3年3月）



豊後大野市 豊後大野市居住支援協議会 職員	
区分	職員名
民間資格認定事業者団体	社会福祉法人大分県立短期大学附属協議会 有限会社エヌネット
公的資格認定事業者	大分県信用保証協会 豊後大野市社会福祉協議会 豊後大野市福祉協議会 社会福祉法人 偕生会 子育てセンター マライ 社会福祉法人 南郷の郷 福祉支援事業所 フラス 一般財団法人高齢者生活支援 有限会社エヌネット 株式会社豊後大野建設事務所
協賛支援団体等	社会福祉法人 偕生会 一般財団法人権利保護支援センターたけなつと 社会福祉法人 大分県立短期大学
大学	KNU 日本文化大学
行政機関	豊後大野市 建設課 豊後大野市 社会福祉課 豊後大野市 高齢福祉課 豊後大野市 子育て支援課 豊後大野市 まちづくり推進課 豊後大野市 人権・生活支援課 豊後大野市 市民教育課 大分県 豊後大野土木事務所



取組内容

相談支援部会

2023年度：相談対応（随時）
2024年度：事例検討会を
中心に定期開催

広報部会

2023年度：HP・パンフレット制作
2024年度：地域資源マップ制作

地域づくり部会

大学・市民団体・社会福祉法人と連携し
空き空間活用等を通じた地域づくりを行う。

日本文理大学
工学部建築学科



清川町支え合いの
まちづくり仕掛人会



社会福祉法人
偕生会



民生委員等と の意見交換会



座談会 「みんなで話そう 居住支援」



情報交換会

「保護司さんと話す刑余者
の住まいと社会復帰」



3 構成員それぞれの活動紹介

(1) 日本文理大学工学部建築学科

(2) 清川町支え合いのまちづくり仕掛人会

(3) 社会福祉法人偕生会

【地域で暮らす】を取り戻す -くすのきハウス 現在進行形-

社会福祉法人偕生会 養護老人ホーム常楽荘 澤田知美

居住支援九州サミット in ベっぴ 事例発表 2024/10/31

社会福祉法人 偕生会

設 立 1979年6月1日

経営理念 社会福祉法人偕生会は、あらゆる社会福祉事業に取り組み、
地域の人々が安心と希望の持てる生活を実現します。

事業内容 総合福祉センター偕生園（特別養護老人ホーム偕生園、偕生園在宅サービス
センター偕生園、あさぎ偕生園、いぬかい偕生園）

総合福祉センター常楽荘（養護老人ホーム常楽荘、温泉交流館みつばちの湯、
地域福祉センター花見園）

新星館（新星館障害福祉サービスセンター）

ひかり保育舎

キャンティーン

職員数 約200名

くすのきハウスとは：なぜつったか



くすのきハウスとは

厚生労働省「低所得高齢者等住まい・生活支援モデル事業」（2014～2016年度）として開始。

住まいの確保（空き家等）＋生活支援 定員：21名

① 空き家活用
2軒



住人2名

住人2名

② 福祉施設の空き部屋活用
2施設

養護老人ホーム常楽荘 + グループホーム花見園



10居室

7居室

- ・常楽荘から徒歩5～10分
- ・緊急車両がアクセスしやすい

くすのきハウスとは

活動：生活支援＋就労支援

厚労省モデル事業終了後、現在は

豊後大野市低所得高齢者等住まい・生活支援事業
(2017年度開始)

+

無料低額宿泊所

施設での活動

- ・シーツ交換
- ・畑
- ・栽植管理（水やり・草刈り）
- ・宿直
- ・温泉整備
- ・「花見台公園」整備事業

介護職員初任者研修

アルバイト

- ・スーパー
- ・飲食店

のべ利用者数：200名超

現在の利用者：16名（男性13名 女性3名）（2024/9/23時点）
うち無料低額宿泊所：3名

居住支援九州サミット in べっふ 事例発表 豊後大野市居住支援協議会 2024/10/31 p.5



自立シェアハウスの暮らしをしている人 / 地域の季節就労に就く人
衣食住の安定がカギとなり精神科などの専門医療を開始した人 / 年金受給日に夕方から一杯飲みに出かける人
みんなの拠り所となる「花見台公園」整備事業に携わる人
他県に住所があるが相談支援を行い住所地利用して施設入所につながった人 etc.

居住支援九州サミット in べっふ 事例発表 豊後大野市居住支援協議会 2024/10/31 p.6

居住支援とは

資源の分かち合い

人生の伴走支援プロジェクト

事例発表

豊後大野市居住支援協議会 大学連携の取り組みについて

日本文理大学 工学部 建築学科 助教

福田健 FUKUDA Ken

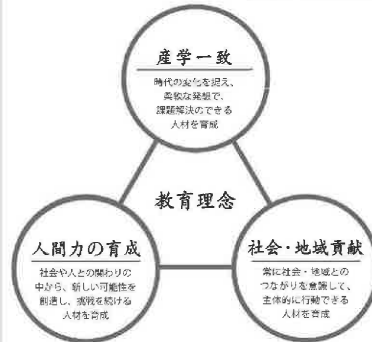
目次

1. 日本文理大学について
2. これまでの経緯
3. 豊後大野市における活動 ～2023年度～
4. 豊後大野市における活動 ～2024年度～
5. まとめと課題

✓ 日本文理大学について

沿革

- S42 (1967) 大分工業大学 開学
建学の精神：産学一致
- S57 (1982) 商経学部 設置 (現 経営経済学部)
日本文理大学 に改称
- H19 (2007) 創立40周年 教育理念に
「人間力の育成」「社会・地域貢献」を加える
- H26 (2014) 文科省「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」
- R5 (2023) 保健医療学部 設置
- R6 (2024) 現在、3学部6学科 2,253名



文部科学省 **地(知)の拠点**

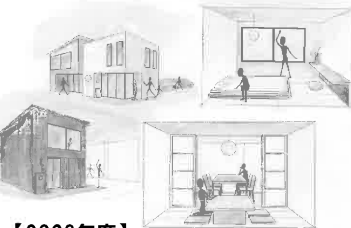


✓ これまでの経緯

●竹田市

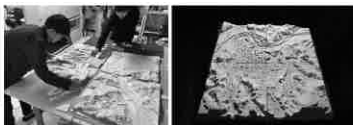
【2022年度】
2022.4 竹田市居住支援協議会 設立
2022.6 教育・研究改革推進事業 採択
建築学科専門科目にて実施

大分県竹田市における
「空き家カルテ」作成

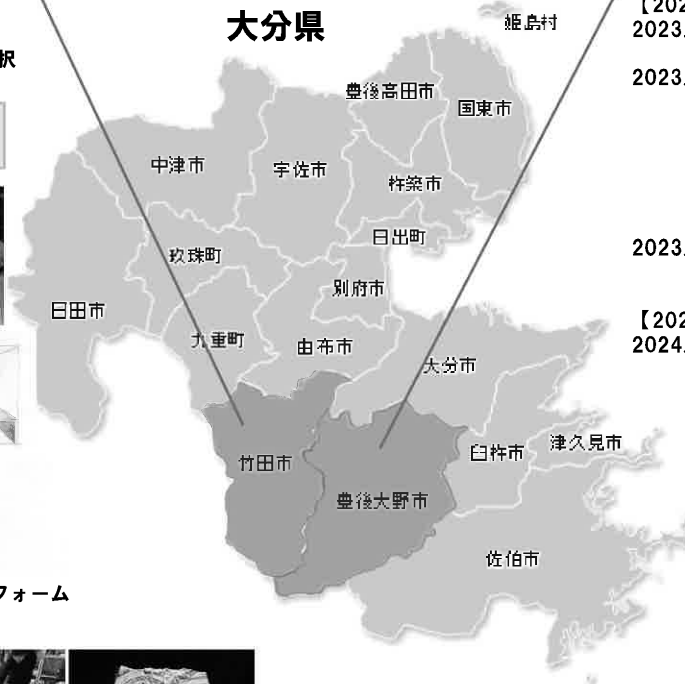


【2023年度】
2023.7 おおいた地域連携プラットフォーム
実践型地域活動事業 採択

「プロジェクション
マッピングを用いた
空き家情報の共有」



大分県



●豊後大野市

【2023年度】
2023.1 豊後大野市居住支援協議会 設立
2023.7 教育・研究改革推進事業 採択
建築学科専門科目にて実施

「地域で暮らし続けるための
空き家リノベーション提案」

2023.12 最終成果発表会

【2024年度】
2024.6 おおいた地域連携プラットフォーム
フィールドワーク支援事業 採択
建築学科専門科目にて実施

「外国人住民との共生社会実現に
向けたモノづくり・コトづくり
プロジェクト」

✓ 豊後大野市における活動 ～2023年度～



● 7/26 キックオフ ミーティング



作業・オンライン打合せ

● 9/28中間報告会



作業・オンライン打合せ

● 12/1最終成果発表会



✓ 豊後大野市における活動 ～2024年度～

ある日の会議にて、、、



外国人実習生の
居住支援について
考えてほしい

+

建築学科
「プロジェクト2」授業
2年生20名

「外国人住民との共生社会実現に向けたモノづくり・コトづくりプロジェクト」

豊後大野市の空き家をリノベーションし、外国人実習生の居住地と交流スペースを作る

しかし...

その空間に実習生や地域の方が何を求めているのかが分からない。
実習生の数やどの地域を対象としてプロジェクトを進めていくのかも不明確

お互いの信頼関係を築き今後のプロジェクトの情報を聞き出すために、
外国人実習生が他の実習生や地域の方とコミュニケーションを取れるような場が必要

ベトナム人実習生のお宅に伺った際に「お花が好きで部屋に飾ってある」とおっしゃっていたこと、国や言語関係なく誰でも参加できるイベントであることから、生け花教室を開催することに

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月



▲企画書



▲イベントに使用する花器の確認

●7/5 キックオフ
ミーティング



●7/12 プレ生け花教室



●8/23 偕生園夕涼会
(生け花教室)



○11/3 偕生園文化祭

- ・国際交流イベント
- ・空き家リノベーション提案

○12月中：
最終成果発表会

作業
・
オンライン
打合せ

✓ まとめ

- ・ 学生による、空き家利活用方法のアイデアの提供
- ・ 地域の方々と一緒に考え（共創）、成果を地域に還元する
- ・ 最先端の社会課題に取り組む
- ・ 高い教育効果

✓ 課題

- ・ 自転車操業的（活動しながら落としどころを決める）
- ・ 地域のニーズに即した、より効果的な活動



ご清聴ありがとうございました

活動報告

「この町ですっと暮らし続けたい」
ハチドリの心でつくる支え合いの取り組み



清川町

人口1,667人

世帯数839世帯

高齢化率51.0%

活動報告者：

清川町支え合いのまちづくり仕掛人会

居住支援の先にあるもの

安心の暮らしは住まいだけでなく、生活支援、就労支援等多岐にわたると考えています。

私たち、清川町支え合いのまちづくり仕掛人会は、この町で孤独感を感じることなく幸福感を感じながら安心して暮らしていくには人と人とのつながりを支え合いの取り組みによって創っていく。できることから少しずつ

ハチドリのひとしずく いま、私たちにできること

その心はハチドリのように

○森が燃えていました
森の生きものたちは われ先にと 逃げて いました
でもクリキンディという名の
ハチドリだけは いったりきたり
口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは
火の上に落としていきます
動物たちがそれを見て
「そんなことをして いったい何になるんだ」
と 笑います

クリキンディはこう答えました
「私は、私にできることをしているだけ」

清川町支え合いのまちづくり仕掛人会のメンバーです。

(大分県吉田前副知事、厚労省犬丸支援推進官と一緒に)



清川町支え合いのまちづくりシンポジウムにて(R6.1.27)

集い、語らい、笑い、つながりづくりを目指して

●【居場所づくり活動】ミニデイスタート

町内2か所で毎月1回、令和5年6月から延べ527名が参加。

メニューは/歌声、介護予防体操、脳トレにつながるレク、ゲーム、お茶会、
スマホ教室、送迎支援、公共交通との連携など

●5.11月から町内2か所で月2回のカフェを開始。(現在は3カ所に拡大)

●NPO法人とのつながりの強化は(子ども食堂から大人食堂・買物支援へと進化)R5.11～

●生活支援活動(有償ボランティア)R6.9.1～開始



※居場所は、いつでも、だれでも気軽に立ち寄れるところ、こうした場所の確保は大切。居場所を拠点に世代間交流や生きがい対策の取り組みにしていけることが必要。高齢者だけでなく次の世代、その次の世代へと引き継がれる場所へ



映像30秒 こども・大人食堂

令和5年12月



「生活の困りごと」の軽減へ
暮らしのサポートの取り組み R6.9.1～

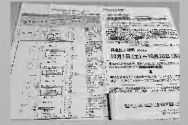


訪問型生活実態調査(記名式)

令和4年10月～

<調査の手法>

- 調査期間は令和4年10月1日から11月15日
 - 調査対象は18歳以上の清川町民で、調査に同意した方
 - 自治委員会の協力を得て78名の調査員を委嘱、調査は有償で実施。
 - 調査票は仕掛人会が作成、生活に密着した38項目。選択式
 - 配布は、自治会組織、回収は調査員が戸別訪問。聞き取り調査も並行して実施。
 - 回収率は92.8%(入院・入所者含まず、17歳以下含まず)
- ★最大の特徴は、記名式。⇒ 1219名、632世帯からの回収



映像1分 生活実態調査(訪問の様子)

令和4年10月～



生活実態調査から見た課題とは(1)

- 高齡化の進展とともに健康が気になる。
→健康寿命の延伸
- 65歳からはじまる外出機会の減少。
免許を返納は死活問題
→移動支援等交通手段の確保
- 楽しみや生きがい、コロナ禍で地域行事が縮小
→集いの場の減少
- 毎日誰とも話をしない。
→独居高齡者の孤立
- 日々の暮らしで、緊急時の対応等頼める人がいない。
自分や同居家族だけでは身の回りのことが十分にできない。
→生活支援の必要性

生活実態調査から見た課題とは(2)

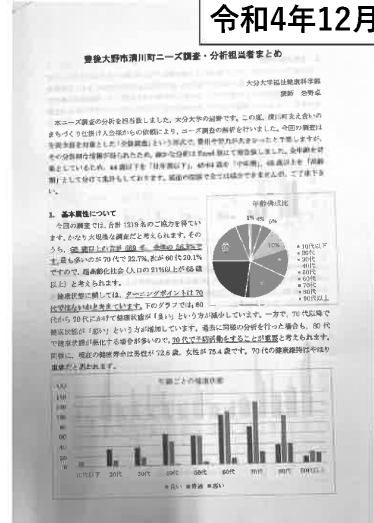
- 子ども、親戚と定期的な連絡を取っていない。
→スマホの有効活用
- 人との交流やつながりのなさを感じている人が多い
→人間関係の希薄化
- 町民の皆さんのニーズは、
居場所づくり、環境整備、粗大ごみの片付け、
簡易な室内での修理、食事提供、健康づくり、
外出支援等々
- 「ボランティアで参加してもいいよ」との声



令和4年12月

●調査のまとめ

今回の調査で、様々な課題が浮き彫りとなった。こうした課題は誰もが、老いを迎えた時に遭遇する問題。「支える人」「支えられる人」相互の支え合いの仕組みを、時代は推移しても続けていくことが町ですっと暮らし続けられる条件となる。



調査で見えてきた
幸福度の高い町とは

- 年齢に関係なく、健康状態が高いほど
- 人のつながりを感じているほど
- 町での生活がしやすいと感じているほど

第1回 わくわく「マルシェ」

きよかわ

2024.11.10日

10:00-14:00

神楽会館かぐら広場他

新たな賑わいの場
家族みんなで
出かけよう

食コーナー

たこ焼き、ピザ、クレープ、パン、クッキー、ケーキ、キンパ、飲み物等

販売コーナー

各種手芸品、アクセサリー、普玉等

フリーマーケットコーナー

仕掛人会の皆さんによる日用雑貨品の販売

各種相談コーナー

健康・福祉・スマホ暮らしの困りごと。この機会にご利用ください

音楽コーナー

幸玉枝さん(大分市)が奏でる素敵な音楽をお楽しみください。

遊び(キッズコーナー)・癒しコーナー

ハンド・フットマッサージ、ネイル等

【主催・お問い合わせ】
清川町支え合いのまちづくり仕掛人会 (スイートピーの会)
TEL 0974-35-3039(清川公民館)又は 080-2785-4187

結びに

- 少子高齢化、失われつつあるコミュニティ、日々の暮らしの困りごと等多くの課題があります。
 - それでも、「住み慣れた地域で暮らし続けたい」という声があふれています。
 - 支え合いの取り組みは、多種多様、私たちはハチドリのようにできることから取り組みを進め、その輪をさらに大きなものに、そして、その心を大人や子どもたちに伝え、さらにその子どもたちに伝わることを願っています。
-